

市政を問

平成28年 第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番で掲載しています

多様な避難を想定したマニュアルの整備を



国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆総合教育会議 秋本市民との協働で子育て子育て支援を進める視点から、会議が市民への情報発信の場となり、より広く市民参加を促すような公開の仕方を考えるべきではないか。答会議の第一義的な目的は、教育委員会と市長部局の十分な意思疎通であると考えている。秋本学童保育の狭隘は市の喫緊の教育課題であり、利用者からも狭隘によるトラブルの話も聞く。生活の場としての機能を早急に、また十分に確保する必要がある。会議のテーマとして取り上げることを提案する。答学童保育の狭隘状況については認識している。改善に向けて努力していきたい。まずは両部で議論し、解決策に向けた案をつくる中で、会議のテーマにあげるかを考えていく。秋本市民に課題として公開し、実態を共有することで、市民参加で解決策について積極的に議論していくことを求める。

◆防災まちづくり・避難所運営マニュアル 秋本熊本の震災では、一般避難所の熊本学園大学が要支援者を含むあらゆる避難者を受け入れ話題となっている。二次避難所や福祉避難所が機能しない場合に、あらゆる方が共に避難生活を送ることも想定すべき。様々な対応を可能にするため、具体的な課題解消についてマニュアルを修正していく必要がある。答被害想定以上の場合に臨機応変な対応は重要。マニュアルは過去の災害の問題や課題を検証の上、修正している。熊本の事例も市に活かせるものは取り入れていく。秋本地区防災センターで要支援者の避難生活に対応するには、バリアフリーの施設整備が必要になるが、いかがか。答選挙時に使用するスロープの利用等、今後の検証後、様々な視点で有効な対策が講じられるよう、順次対応していく。秋本熊本でも、トイレの課題、乳幼児や妊産婦への配慮、子どものストレスケア等、今までの震災の課題が繰り返された。災害弱者への支援や避難者の人権に配慮した避難所の環境整備を進めるべき。そのために女性の暮らしの視点の強化を求める。答熊本の課題を整理し、更なる強化修正を行う。秋本そうした視点で各校のマニュアルを整備し、普段から学校と地域とで確認する会を上げてほしい。学校と地域を結ぶ役割として防災推進委員に協力の働きかけを。答17か所全て独自の運営マニュアルの作成を確実に進めていきたい。

人口減少、未来を見据えた課題解決を



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ

●市庁舎の建設について 本橋市民サービス、防災面からみても早急に市役所の建て替えを検討していく時期に来てい

ると考えるがどうか。市) 新庁舎の必要性は認識している財政状況をみながら時期について判断していく。

●都市計画道路国3・2・8号線について

本橋平成28年度中に暫定開通をすることのだが、近隣住民への情報提供をしっかりと行っていただきたいがどうか。市) 市民に対する情報提供をしっかりと行っていく。

●ペットボトルの戸別収集について

本橋現在は拠点回収で行っているが、他の自治体ではほとんどが戸別回収を行っている。当市でも戸別収集を導入していく必要があると考えるがどうか。市) 必要性は認識している。課題等を整理して検討していく。

●公共施設のLED化について

本橋省エネ面、また寿命の面からしても現在、まだ導入されていない、いずみプラザや教育施設にもLEDを導入していく必要があると考えるがどうか。市) 財政面を考慮しながら進めていきたい。

●スポーツ振興について

本橋多目的グラウンドが必要だと考えるが、なかなか土地も限られているし財政的にも新規でグラウンドの用地を確保することは難しい。例えばけやきスポーツセンターのグラウンドを拡幅するなどして、スポーツ環境の向上を行っていただきたいと考えるがどうか。市) 様々な課題を整理した上で判断していきたい。またオリンピックの合宿所の誘致を積極的に行っていただきたいがどうか。市) 施設面等課題を整理して誘致を考えていきたい。

●待機児童解消の取り組みについて

本橋全国的にも問題となっているが、当市でも102名の待機児童がいる状況であり、今後3園の保育園が開園予定である。しかしながら新規に保育園を作ってもなかなか待機児童が減っていかない。既存園の定員の拡充などして少しでも減らしていく努力が今後も必要であると考えている。既存園の定員の拡充、また分園方式など今後も待機児童解消に向けて積極的に取り組みを行っていきたい。

恋ヶ窪駅→東恋ヶ窪5丁目 路上を禁煙に！



自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

▼熊本地震を国分寺市防災力向上の教訓に！ 被災者各位に心よりお見舞いさせて戴くと共に、一刻も早い復興を切願させて戴きます。

【問】熊本地震復興に国分寺市は尽力したか？

【答】①4/18～19、市職員らにより街頭募金を実施し2,687,886円寄付②東京都の要請で被災建築物応急危険度判定員1名、り災証明書発行支援業務2名を被災地へ派遣、救援物資も準備した。

【問】被災地派遣を通じて苦労した点、国分寺市の防災に参考になる点はあったか？

【答】被災者の悲痛な要望に必ずしも応えられず心が痛んだ、活かしたい点としては地元職員からの指示体制が煩雑であり、担当区域割りな

ど事前の運営計画が重要と感じた。また、避難所の正確な情報収集や支援物資の運搬体制など参考になる点多くフィードバックしたい。

【問】震災時の職員行動マニュアルへの反映は

【答】熊本地震派遣職員の経験をはじめ型にはまった対応ではなく、車中泊など新たな問題点も合わせ臨機応変な活動が出来るよう見直す。職員だけでは対応出来ない部分も多くあり、受援力を活かすとともに市民の皆さんの力もお借りして国分寺市総合防災力向上を常に意識した取り組みをしていきたい。

▼路上禁煙地区の見直しと喫煙所表示の必要性

私は非喫煙者ですが嫌煙家ではなく、喫煙所の適切配置による禁煙地区指定が肝要と考える。

【問】国分寺市ポイ捨ての防止及び路上喫煙の規制に関する条例施行後10年経過した。どのような取り組みをしてきたか？

【答】路面禁煙ステッカー貼付、禁煙横断幕掲示、マナーアップ指導員巡回等々実施。喫煙所の配置についても適宜実施しており、この10年間で一定の成果をあげているものと考えている。

【問】10年前とは駅周辺の環境が激変している。特に恋ヶ窪駅から東恋ヶ窪5丁目方面の遊技場に向かう人のポイ捨て禁止や路上禁煙意識が低いので、喫煙箇所の適正配置をしたうえで禁煙地区の見直しをされたい。

【答】喫煙ポイント以外に煙が流れないようにパーティションを設置するなど日本たばこ産業株式会社にも協力して働きかけをしてきている。市道東222号線という道路には「こもれびの森保育園」がある、状況に応じて対応する。

熊本地震に学び いのちを守る施策の充実を！



公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて
 - (1)市総合防災訓練はより体験中心であるべき。市) より実践的に対応のできる訓練にしたい。
 - (2)マンホールトイレ設置は重要。目標設定していくべき。市) 感染症対策からもマンホールトイレ設置の計画検討を始めたい。
 - (3)福祉避難所の協定は進んでいるが、非常時、確実に開設できるように開設マニュアル整備が必要。市) 整次ページに続く➤

映像配信について



平成28年第2回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第3回定例会一般質問のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信 QRコード